

DSC定例会

Web-based Signageの現状とW3C標準化動向について

2016年1月19日(火)



株式会社ニューフォリア 取締役 最高技術責任者
羽田野 太巳 (はたの ふとみ)

 @futomi  futomi.hatano

<http://www.newphoria.co.jp/>

もくじ

- Web-based Signageとは
- W3Cにおける標準化動向
- まとめ

Web-based Signageとは

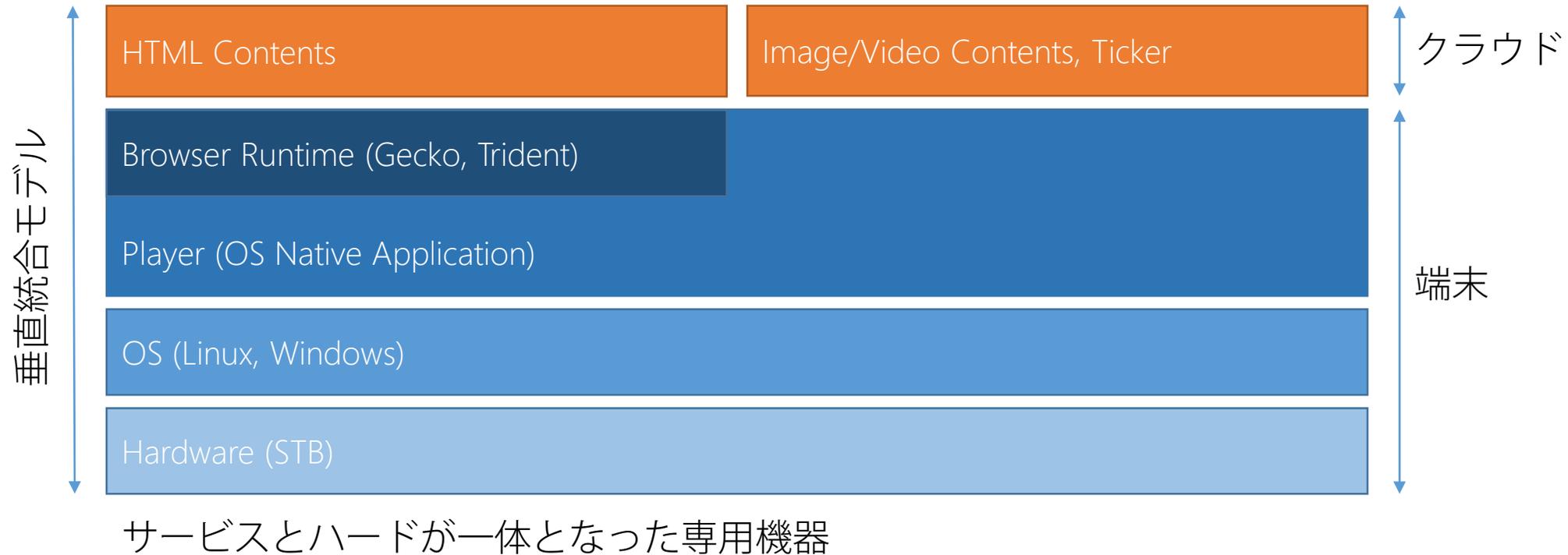
サイネージで使われてきたWeb技術

- Adobe Flash
 - かつてはウェブサイト制作において一世風靡
 - スマートフォンの台頭によりモバイルの世界では消滅
 - 編集ソフトはFlash ProfessionalからAnimate CCに名称変更
- SMIL
 - XMLベースのマルチメディア記述言語
 - 現在はSVGに統合 (SVG SMIL animation)
 - Microsoftはサポートしないことを表明 (CSSで代替可能なため)
- HTML
 - Webブラウザランタイムを使ってコンテンツを表示
 - HTMLコンテンツを表示するときにだけランタイムを起動

Web-based Signageの定義

- プレーヤーそのものがブラウザランタイム上で動作
 - プレーヤーはJavaScriptで開発
 - コンテンツは静止画、動画、HTML
- オンラインが前提
 - インターネット or イントラネット
 - USBメモリーを差してスタンドアローンで動作するサイネージは対象外
- 端末
 - ブラウザランタイムを組み込んだ機器
 - テレビ機器
 - 外付け機器 (STB, PC, etc.)

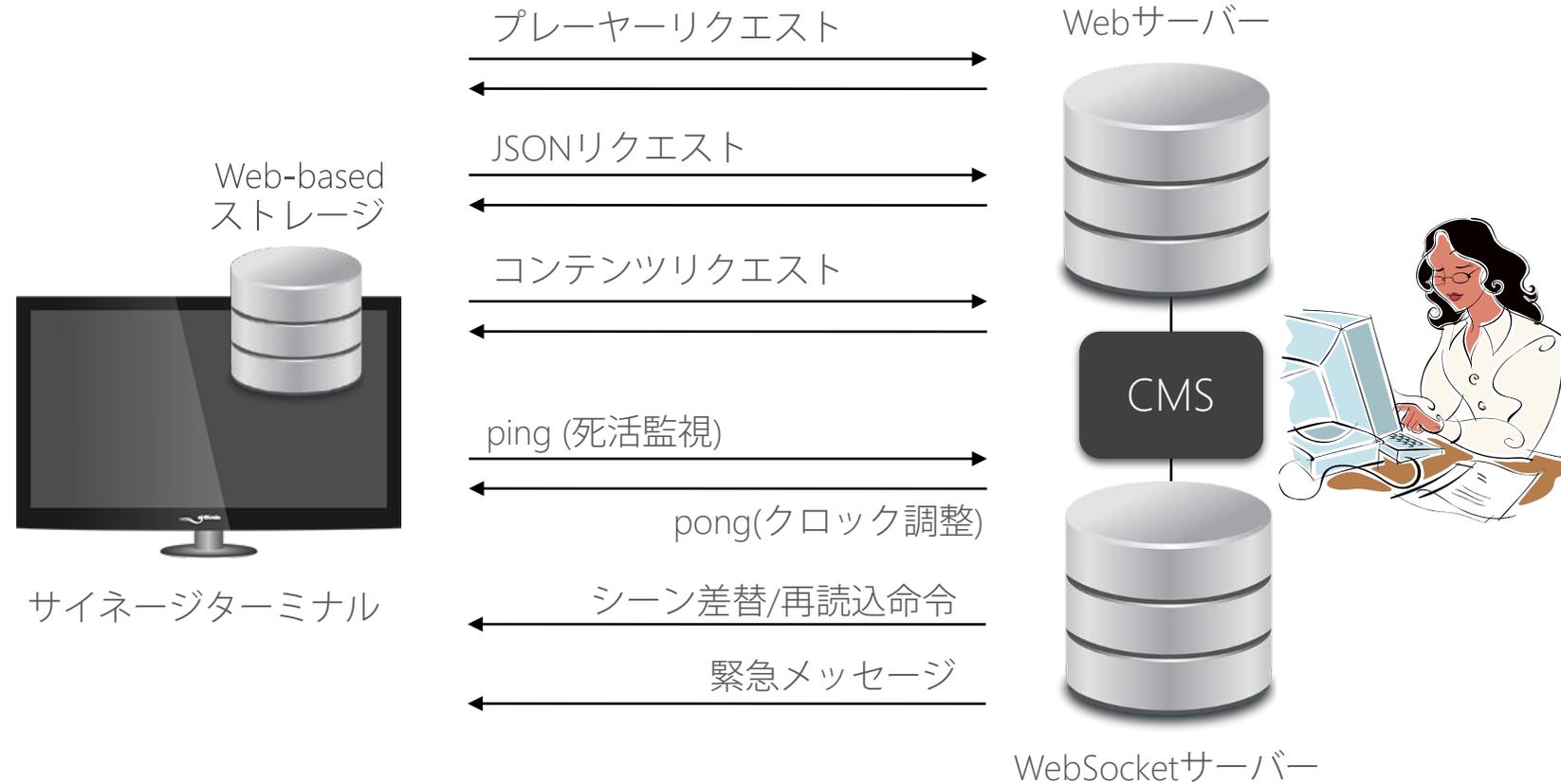
旧来の端末アーキテクチャー例



Web-based Signageのアーキテクチャー



システム構成例



Web-based Signage対応機器の事例

SONY BRAVIA



<http://www.sony.jp/bravia/lineup/>

ASUS Chromebox + Google for Work



<https://www.asus.com/jp/Chrome-Devices/Chromebox/>
<https://www.google.com/work/chrome/devices/for-signage/>

W3Cにおける標準化動向

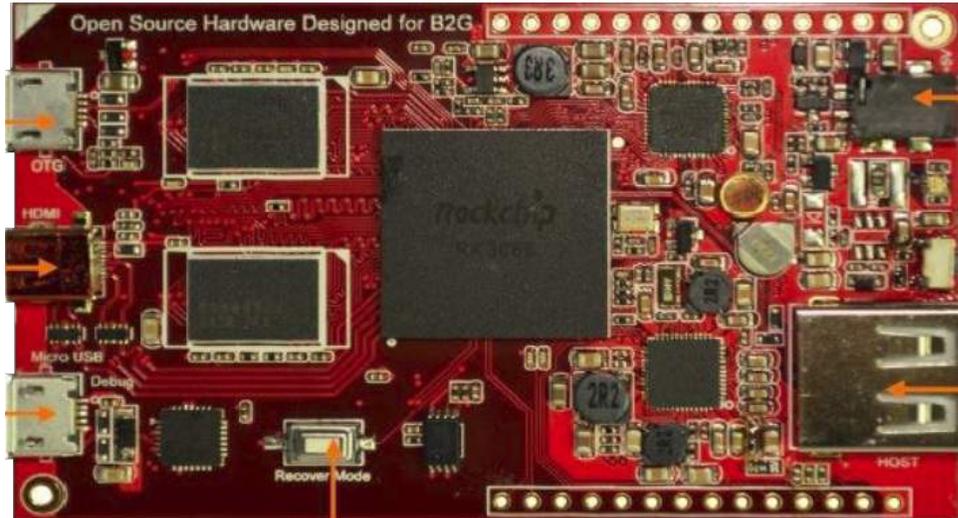
TPAC 2015 で使われた Web-based Signage



ブラウザー内蔵パネル提供協力：ソニー、東芝、パナソニック、三菱電機
JS Player開発・コンテンツ制作：ニューフォリア



MozOpenHard CHIRIMEN



Firefox OS

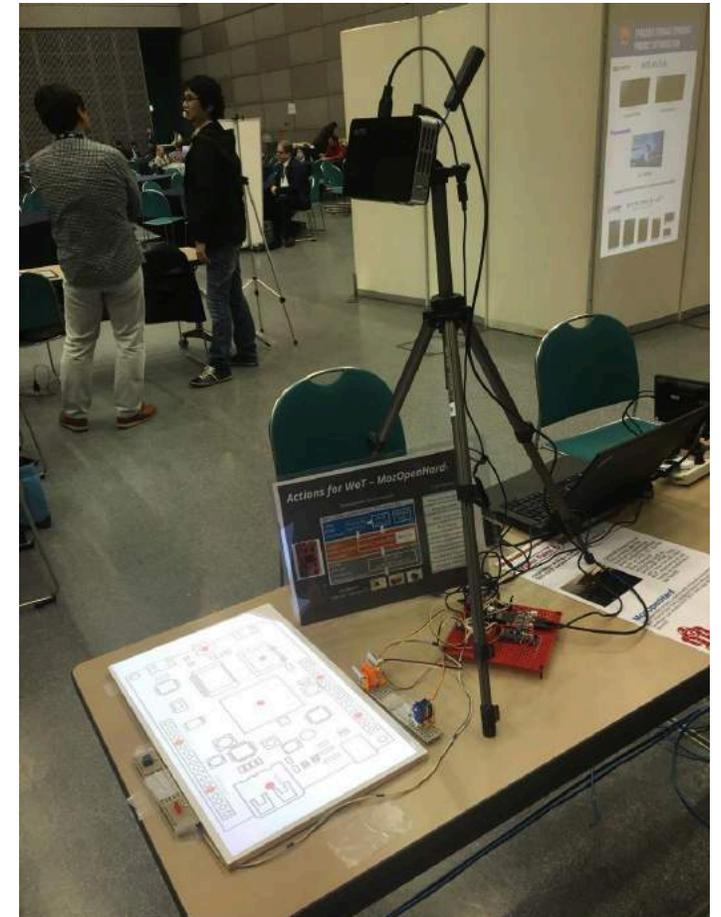
CHIRIMENでWeb-based Signage at TPAC



Hosted Appsインストーラー



Hosted Appアイコン



W3Cにおける標準化活動

- グループ
 - Web-based Signage Business Group
 - Working Groupチャーターに向けて活動中
- スペック
 - Working Groupでの対象APIを選定中
 - 電源管理、時間同期、スクリーン管理 (電源, 色設定, 輝度設定など)、CPU状態把握 (ロード, 温度)、メモリー消費量把握、マルチキャストビデオ再生、外部ストレージ (USB, SD) などが候補に

Working Group Charterに向けての進捗

- W3C日本会員メンバーで総務省のご支援を頂きながら検討中
 - 不定期に会合を開催
- Charterドラフト完成 (NTT)
 - セキュリティーモデル案(SONY)
 - メンバー内で精査中
- 今後の活動
 - APIドラフトのエディタ選定
 - APIドラフト作成

まとめ

サイネージの価値を高めるウェブ

- パネルは単なる表示器からアプリ基盤へ
 - ウェブアプリを変えるだけで多目的な機器へ
 - STBレスのニーズは高い
- リッチなコンテンツ
 - 静止画・動画だけのサイネージからの脱却
 - HTML/CSS/JavaScriptを使った動的コンテンツ
- オンライン前提
 - クラウドベースによる付加価値の提供
 - スマートフォンや各種外部機器 (ビーコン, センサーなど) との連携

端末機器開放のインパクト

- 電話機の端末機器開放
 - 1985年NTT民営化とともに電話機の開放を電気通信事業法49条で規定
 - 様々なメーカーが電話機開発販売に参入
 - 電話機の多様化と高度化が進み市場が活性化
 - 通話機能だけでなく、さまざまな機能が搭載されサービスが進化



4号



600型



600P型



ハウディ・レポンスIC-3500

標準化されたWeb技術によってサイネージにも端末機器開放のインパクトを

写真：NTT技術資料館ウェブサイトより <http://www.hct.ecl.ntt.co.jp/>

ご清聴ありがとうございました



株式会社ニューフォリア 取締役 最高技術責任者
羽田野 太巳 (はたのふとみ)

 @futomi  futomi.hatano

<http://www.newphoria.co.jp/>